

骨塩定量検査

骨 塩 定 量 検 査									
コード	検査項目 JLAC10コード	検体量 (mL)	容器 (No.)	保 存	所 要 日 数	実施料 判断区分	検 査 方 法	備 考	異常を示す主な疾患
974	骨塩定量検査 9Z513-0000-991-295	X線フィルム	専用 フィルム	常 温	3~4	140	D I P 法	下表参照	【低下】骨粗鬆症・骨代謝性疾患
1000	骨塩定量検査 (フィルムレス)	電子媒体	専用袋	常 温	3~4		D I P 法	下表参照	

撮 影 ・ 現 像 方 法

①アルミステップ

右図のようにアルミステップをカセットに対して直角に置き、ステップの低い方が手前になるようにセットしてください。
(※アルミスローブは厚い方が手前)

②カセット

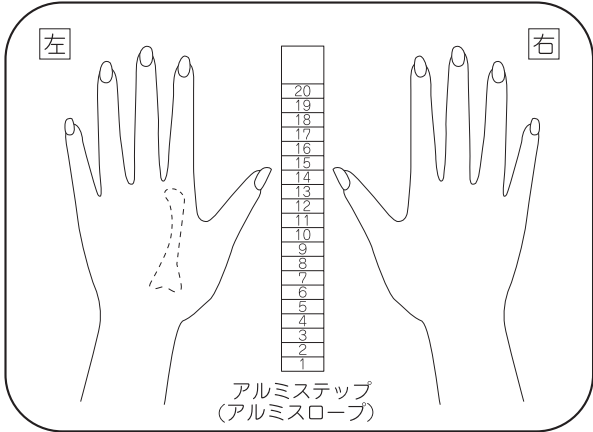
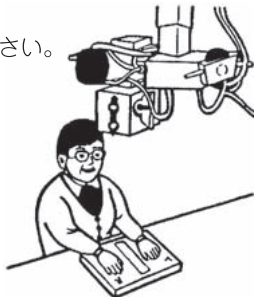
グリッド（リスカセット）は使用しないでください。
氏名、撮影日、手の左右識別に「右、左」
又は「R、L」等の表示を入れ、試し撮りで
決定した条件に設定してください。

③手の位置

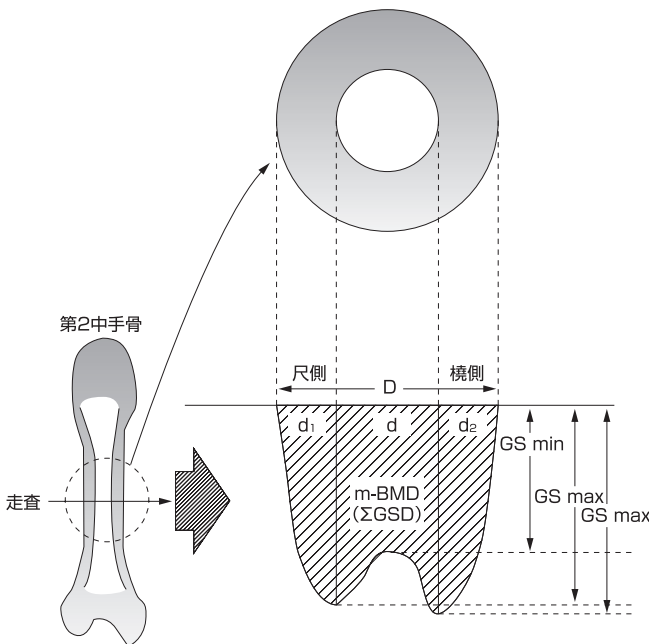
手のひらをカセットに可能な限り密着させ、
指を軽く開いた状態で撮影してください。

④現像

フィルムに、ムラ・キズのないように現像してください。



m-BMD (骨塩量) 中手骨骨塩量のアルミ厚さ換算値(mmAI)
MCI 骨皮質幅指数(骨幅に対する皮質部の割合)
YAM% 性別の若年成人平均値に対する実測値の百分率(%)
Age% 性と年齢を一致させた基準値に対する実測値の百分率(%)
GS max デンシトメリーパターンの桡側、尺側の各最大値の平均(mmAI)
GS min デンシトメリーパターンの中央部最小値(mmAI)
d 骨髓質幅(mm)
D 骨幅(mm)
L 第二中手骨の長さ(mm)



基 準 値

年 齢	女 性	
	YAM値 例 数	2.864 平均値
20~24	2,252	2.788±0.240
25~29	3,192	2.854±0.242
30~34	5,653	2.877±0.241
35~39	7,032	2.880±0.247
40~44	7,263	2.867±0.250
45~49	9,163	2.835±0.258
50~54	8,382	2.705±0.289
55~59	8,190	2.502±0.294
60~64	7,337	2.375±0.288
65~69	5,854	2.272±0.286
70~74	2,688	2.172±0.289
75~79	952	2.073±0.310
80~84	223	1.975±0.279
85~	43	1.847±0.253
計	68,520	

年 齢	男 性	
	YAM値 例 数	2.984 平均値
20~24	156	2.907±0.293
25~29	335	2.932±0.273
30~34	250	3.010±0.279
35~39	365	3.047±0.289
40~44	517	2.997±0.300
45~49	665	2.952±0.304
50~54	826	2.960±0.291
55~59	708	2.931±0.311
60~64	621	2.939±0.311
65~69	562	2.884±0.349
70~74	355	2.836±0.326
75~79	171	2.774±0.376
80~	59	2.796±0.362
計	5,590	